

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	JSS水夢北神戸		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	2025年12月 1日		～ 2025年 12月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者送迎の為、事業所での療育の様子や家での様子等の情報交換、保護者の困り事の聞き取りを毎回直接行うことができ、保護者と事業所が緊密に連携を取ることが出来る。	療育中の子どもの様子などを写真や動画を撮り、迎えの際にそれらを観ていただきながら伝えるようにしている。	療育中に撮影した写真や動画を保護者に送るようにしている。送ることでお迎えの保護者以外の家族とも子どもの様子や成長の振り返りなどを共有していただきやすいようにしている。
2	栄養士がいる為、偏食で困っている保護者に対しては家での食事についての相談やメニューの提案、子どもを支援するためおやつで提供した物を食べられなかった際には様々な声掛けや方法で少しでも食べられるように検討している。 他にも、月の1週目はお弁当を持参していただき食べ方や食具の使い方などを見て保護者に伝えている。	毎月最終週にクッキングを行っている。 当事業所で栽培している野菜を収穫し、その野菜を使い子どもたち自身でクッキングを行うことで何が使われているのかを見て触って野菜に興味を持つことで少しずつでも食べる事を目標にしている。おやつも市販の物だけではなく栄養士が作った物を提供することを意識している。	保護者の協力のもと、子どもたちが自分自身で選んだ野菜を家で食べた回数をシールで記録する「野菜ノート」を作成している。食べた回数によりガチャガチャ等のご褒美があり子ども自ら楽しんで取り組めるようにしている。
3	母体がスイミングスクールであり、希望者にプールでの感覚統合を行っている。プール前後の着替えを自身で行える事を目標に服の着脱や服を畳むこと、身体をタオルで拭くこと等様々な場面で自立に向けて練習している。他にも、様々なルールを守ることや楽しくなった中でも指導員の話聞くことが出来るように気持ちのコントロールや切り替えの練習を行っている。	着替えは少しだけ手伝うことで子ども自身で「出来た」の成功体験を経験できるようにしている。間違いやすい洋服の前後が逆にならないように着る前に確認するよう伝えている。 また、プールでは個々に合わせて苦手を克服できるように段階を踏みながら進めていくことや陸ではできないような浮力を使いながらの脱力、身体の使い方等の練習を行う。	感覚統合を行いながら言葉遊びや記憶すること、チームで協力することなど様々な内容も同時に取り組むこともしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会を行ったが、行っていることに対して“はい”の方が非常に少なかったことで知られていなかった。	コロナ禍もあり、オープンしてから行っていなかったことやオープン当初は人が少なかったこともあり、昨年から実施をして今年の2月で2回目の保護者会を行った。	沢山の方に保護者会を行っていることを知っていただけるように発信方法を検討する。
2	バリアフリーではなく、部屋の中に階段があること。	事業所が2階にあることや事業所内に階段がある構造ため。	必要に応じて職員が補助するなどの対応を行っていく。
3	スイミングスクール内に事業所があるため、認知されにくいこと。	スイミングスクール内にあるため感覚統合ではなく習い事の1つとして捉えられてしまっている。	スイミングスクールの入口にパンフレットを置いて周知してもらえるようにしていく。現在通われているお子様との様子等を保護者に伝えて口コミで広げていけるように努めていく。